

競技スポーツの振興



<現状と課題>

本県では、平成 26(2014) 年に開催された「長崎がんばらんば国体」において、総合成績 1 位を達成しました。地元国体開催を契機に、小学生—中学生—高校生—大学生・社会人の系統的な競技力向上を推進する一貫指導体制を構築しました。

長崎国体で培った指導体制を一過性のものとして終わらせることなく、競技力向上のレガシーを継承し、県スポーツ協会、各競技団体、学校体育団体等が共通の認識をもって、更なる競技力の向上に努める必要があります。

また、競技力向上を図るためには、優秀指導者の確保・育成をはじめ、スポーツ医・科学分野を活用して、選手や指導者に対する総合的なメディカルサポート体制の充実も求められています。

将来の本県競技力を担うジュニア選手が、一人でも多く日本代表として世界の舞台へ羽ばたく選手として活躍できるように、中・長期的な視点で競技力の向上を推進していくことが重要です。





写真提供／長崎新聞社

■国民体育大会の成績（平成24年岐阜国体から令和2年鹿児島国体まで）

| 年度 開催地 | H24 岐阜 | H25 東京 | H26 長崎 | H27 和歌山 | H28 岩手 | H29 愛媛 | H30 福井 | R1 茨城 | R2 鹿児島 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 男女総合順位 (天皇杯順位) | 20 | 10 | 1 | 17 | 28 | 24 | 41 | 26 | 開催 延期 |

■国民体育大会における成年・少年別成績状況（掲載上記と同じ）

| 年度 開催地 | H24 岐阜 | H25 東京 | H26 長崎 | H27 和歌山 | H28 岩手 | H29 愛媛 | H30 福井 | R1 茨城 | R2 鹿児島 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 成年種別 | 245.0 | 401.0 | 1148.5 | 262.0 | 352.5 | 222.0 | 155.5 | 177.5 | 開催 延期 |
| 少年種別 | 294.5 | 418.5 | 815.5 | 418.5 | 167.0 | 318.0 | 169.5 | 325.5 | |
| 総合得点 | 939.5 | 1219.5 | 2364.0 | 1070.5 | 919.5 | 940.0 | 725.0 | 903.0 | |

※総合得点は参加点を含む。



写真提供／長崎新聞社

施策の 方向

各競技団体の一貫指導体制に基づき、中・長期的な視点に立ち、系統的かつ計画的な選手の発掘・育成・強化に取り組むとともに、本県選手が日本代表として世界の舞台上で活躍できるように、優秀選手の重点強化及び優秀指導者の確保と更なる資質向上を目指します。また、一貫指導体制の好循環を図るため、次世代アスリートとなるジュニア選手の育成・強化及び優秀成年選手の確保と県内定着により競技力の裾野の拡大を目指します。

1. 競技スポーツ選手・指導者の計画的な育成・強化

(1) ジュニア選手の発掘・育成・強化

●中・長期的なジュニア選手の育成・強化

各競技団体の一貫指導体制システムを活用し、発達段階に応じたスポーツ体験教室・ジュニア教室等により、ジュニア期から系統的かつ計画的な選手の発掘・育成・強化を図るとともに、本県の競技特性や各競技団体の組織体制に合わせた中・長期的な強化支援を行います。

●世界の舞台で羽ばたく選手の育成・強化

本県ジュニア選手が、将来の日本代表として素晴らしい活躍ができるように、「世界の舞台へ羽ばたく選手」の育成を目指し、全国トップクラスの優秀選手の重点的な育成・強化を図り、競技力向上を行います。

●本県の競技特性を活かした重点的強化

国民体育大会に向けた競技力向上のため、本県の獲得得点割合が高い少年種別の団体競技や国民体育大会入賞実績が高く、競技特性や地域的な特性から本県が強みをもつ「お家芸競技」の重点的な強化を行い、更なる国民体育大会の総合成績の躍進を図ります。

●マリンスポーツの強化・充実

本県の地理的条件を活かしたマリンスポーツの重点強化・充実に取り組み、競技人口の拡大を図り、競技力向上を推進します。

(2) 成年選手の育成・強化

●成年選手の確保と県内定着の支援

国民体育大会に向けた競技力向上のため、全国レベルの優秀な成年選手の確保と県内定着を図るため、「ふるさと選手」制度の活用と県内企業雇用促進の支援を推進します。

●クラブチームや企業・大学チーム等の支援

成年選手の活動母体となる企業・社会人クラブチーム、大学チーム等の支援を行い、競技力向上を推進します。

(3) 指導者の育成・資質向上

●競技指導者の育成と資質向上

県スポーツ協会・県競技団体・学校体育団体等と連携し、強豪チームへの研修派遣、優秀指導者招へいによる講習会等への参加促進と支援を行い、競技指導者の育成と資質向上を推進します。

2. 競技スポーツ環境の整備

(1) 育成・強化体制の充実

●関係団体と連携した選手の育成・強化

競技スポーツ選手の育成・強化については、県スポーツ協会・競技団体・高等学校体育連盟・中学校体育連盟等と連携し、成長・発達段階に応じたジュニア選手の発掘・育成に努め、計画的に選手を強化し、成年選手へとつなげていく一貫指導の「発掘→育成→強化」の体制を今後も継続して推進していきます。

●強化・育成拠点となる高等学校運動部の指定

全国大会等での活躍が期待できる高等学校運動部を指定し、競技力の強化・育成の拠点として、競技特性に応じた質の高い強化事業の充実を図ります。

●優秀指導者の適正配置等による競技力向上

各競技の強化・育成の拠点となる学校に、継続して優秀な指導者等の配置を行い、競技力の向上に努めます。

(2) 一貫指導体制の強化・充実

●競技団体の強化体制推進と連携

各競技団体の中・長期的な競技力推進計画を支援するため、県スポーツ協会・学校体育団体等と連携し、円滑かつ効果的な競技力強化事業を進め、競技力向上を図ります。

●地域の強化拠点の推進と連携

本県開催の全国スポーツ大会等で培った地域を基盤とした選手強化のシステムを機能させながら、「地域の強化拠点」とし、より高いレベルを目指した育成・強化に努め、地域との連携と競技力の向上を推進します。

(3) 競技スポーツ大会の支援

●本県開催全国大会等に向けた強化支援

「令和6年度全国高等学校総合体育大会」、「令和7年度全国中学校体育大会」、「令和7年度国民体育大会九州ブロック大会」等の各全国・九州大会等での本県選手の活躍と意識高揚を図るため、県スポーツ協会、競技団体、県高等学校体育連盟、県中学校体育連盟等の関係機関・団体と連携し強化支援に取り組みます。

数値 目標

国民体育大会の順位（総合成績）

令和元年度
26位

令和7年度

20位台前半

本県ゆかりの日本代表選手数

令和元年度
55人

令和7年度

65人

●競技施設・設備等の充実

国民体育大会等開催を契機として整備された既存の競技施設を点検・整備し、誰もが利用しやすく時代に即した施設・設備の充実を図ります。

(4) メディア広報の積極的活用

●SNS等を活用したPR活動推進

各競技及び国民体育大会等に対する県民の理解と認知度を高めるために、報道関係機関におけるメディア報道の協力やSNS等を積極的に活用し、各競技の競技大会や強化事業・活動の取組等のPR活動を推進します。

●優秀選手の各種表彰等におけるPR活動推進

本県選手が全国大会等で活躍することは、県民に大きな活力と勇気をもたらします。また、ジュニア選手にとって大きな励みとなり、競技スポーツに取り組む積極的な姿勢と更なる飛躍につながるため、各種表彰等を継続します。

(5) 障害者スポーツの競技力向上

●指導者の派遣

障害者スポーツの指導者を登録した「障害者スポーツ人材バンク」を活用し、指導者を学校・施設等へ派遣します。

●アスリートの活動支援

障害者スポーツを行う団体が開催する県内大会等に対して助成している「長崎県障害者スポーツ振興助成金」において、アスリートの活動を支援します。

●関係機関の連携強化

障害者スポーツ振興に向けて、長崎県障害者スポーツ協会と関係団体との連携を強化し、競技力の向上を目指します。



3. 選手サポート体制の充実

(1) スポーツ医・科学の活用

●スポーツ選手体力総合診断の活用

競技パフォーマンスを向上させるためには、選手の発達段階や競技特性に応じた最新のスポーツ医・科学の見地に基づく「科学的なトレーニング」と「栄養・休養」等を適切に行うことが不可欠です。令和元年に整備した最新の体力総合診断測定機器を有効活用し、医・科学に関するデータ等を収集・分析し、選手や指導者へフィードバックの充実を図ります。

●スポーツ医・科学を担う組織の整備・充実

トップアスリートや県民がスポーツを安全かつ効率的に行い、本県の競技力向上を推進していくため、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士等のスポーツ医・科学関係者及び団体や研究機関との連携を図り、サポート体制を担う組織の整備・充実を推進します。

(2) トレーナー事業の活用

●アスレティックトレーナー県協議会との連携

スポーツ選手に対するサポート体制支援のため、競技団体とアスレティックトレーナー長崎県協議会との連携を推進します。

●国民体育大会等へのトレーナー派遣

国民体育大会及び九州ブロック大会における、競技団体チームに帯同するトレーナーの派遣を支援し、競技力向上を図ります。

(3) スポーツモラルの啓発

●アンチ・ドーピング教育・啓発教育の推進

競技者・指導者等がスポーツにおける薬物乱用・誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を実践していくために、国民体育大会選手団を中心にアンチ・ドーピング啓発教育に継続して取り組みます。